



調査

テレカどこで買える？

「テレホンカードを手に入れる方法を教えてほしい」。大分合同新聞社に1通の手紙が届いた。以前はパートや販売機で購入できたというが、現在はどこで買えるのだろうか。そもそも公衆電話は今のどのくらい置かれているのか。県内の状況を調べた。

(牧里保子、松尾祐哉)

「トキハで買った時もあったのになあ」。手紙をくれた大分市長谷町の宇野久夫さん(68)はつぶやいた。携帯電話を持たない宇野さんは月に1、2回、家族と連絡を取るために公衆電



＝ 随時掲載 ＝

かつて出回っていたさまざまなデザインのテレホンカード



話を使う。5月末、テレカを求めて大分市府内町のトキハ本店を訪れたものの、売っていなかったという。店の担当者に尋ねたところ「詳しい時期は分からないが、需要が減ったため取り扱わなくなった」と返答があった。後日、宇野さんに伝えると「近くに売っている場所はあるのだろうか」と首をかしげた。

デザイン一つのみ

テレカを代理店に納品しているNTTカードソリューション(東京都品川区)によると、県内では主に一

大分市内、コンビニで細々

部のコンビニで50度数と105度数の2種類を販売している。価格はそれぞれ500円、千円。

かつては有名人や名所などの写真を載せたテレカも多かったが、2019年9月末で販売を終了し、現在は各度数でそれぞれ一つのデザインのみのみという。

大分市中心部のコンビニ12店舗を訪れ、テレカを買えるか聞いてみた。6月18日現在、2店が取り扱っていた。

店員の話では、1店は購入者が一定数いるが、もう1店はほとんどいないらしい。同じコンビニチェーンでも店舗によって扱いが異



現在販売されている50度数、105度数のテレホンカードと公衆電話。大分市

公衆電話も減少の一途

県内983台、ピーク時の1割

公衆電話は「第一種」と「第二種」がある。第一種は「戸外での最低限の通信手段確保」のために置かれ、現在の基準は▽市街地は約1台▽市街地以外は約2台▽四方に1台。NTTは台数削減を

なるため、購入する際は店に確認するとよさそうだ。

災害時の通信手段

携帯電話の普及に伴ってテレカを利用する機会は大きく減り、公衆電話の設置台数も減少の一途をたどっている。

NTT西日本(大阪府)によると、県内の公衆電話は今年3月末時点で983台、データの残る中で最も多い1995年の8564台と比べ、1割近くまで減少した。

一方で、自治体が避難所を開いた際に設置する無料の災害時用公衆電話は台数を増やしている。県内は3月末時点で1183台。同社は「東日本大震災以降、避難住民に通信手段を提供する重要性がより認識されたため」と説明する。

設置場所の確認を公衆電話は災害時に回線

が進んでおり、本年度は全国で9千台を減らす計画。第二種は多くの利用が見込める場所に置いている。設置場所はNTTのホームページで検索できる。このほか、商業施設などが一般回線を使って設置する硬貨利用のみの公衆電話機もある。

が混み合っても優先される強みがある。電話線から電力を受けているため周囲が停電中でも通話ができる。

店頭に設置している事業者202人(3月末時点)でつくる日本公衆電話会大分支部は、社会貢献活動の一環で、災害時伝言ダイヤル「171」の普及に力を入れる。小学校などで公衆電話教室も開き、利用経験のない子どもたちに電話のかけ方を教えている。

荒金一義支部長(77)＝顔写真＝は「公衆電話はいざというときに役に立つ。使い方や設置場所を普段から確認しておいてほしい」とPRする。



最近テレホンカードや公衆電話をあまり見ることがなくなってきたが、これまで少なくなっていることは初めて知った。災害への備えを兼ね、身近な場所どこにあるのかを覚えておきたい。



〔問①〕 記事ではテレホンカードを現在、どこで買うことができるとしていますか。

一部のコンビニエンスストア（コンビニ）

〔問②〕 県内の公衆電話は今年3月時点で何台ですか。最も多かった1995年は何台でしたか。

現時点 = 983台

1995年 = 8564台

〔問③〕 公衆電話の使い方、テレホンカードの使用方法を調べてみよう。

自主学習